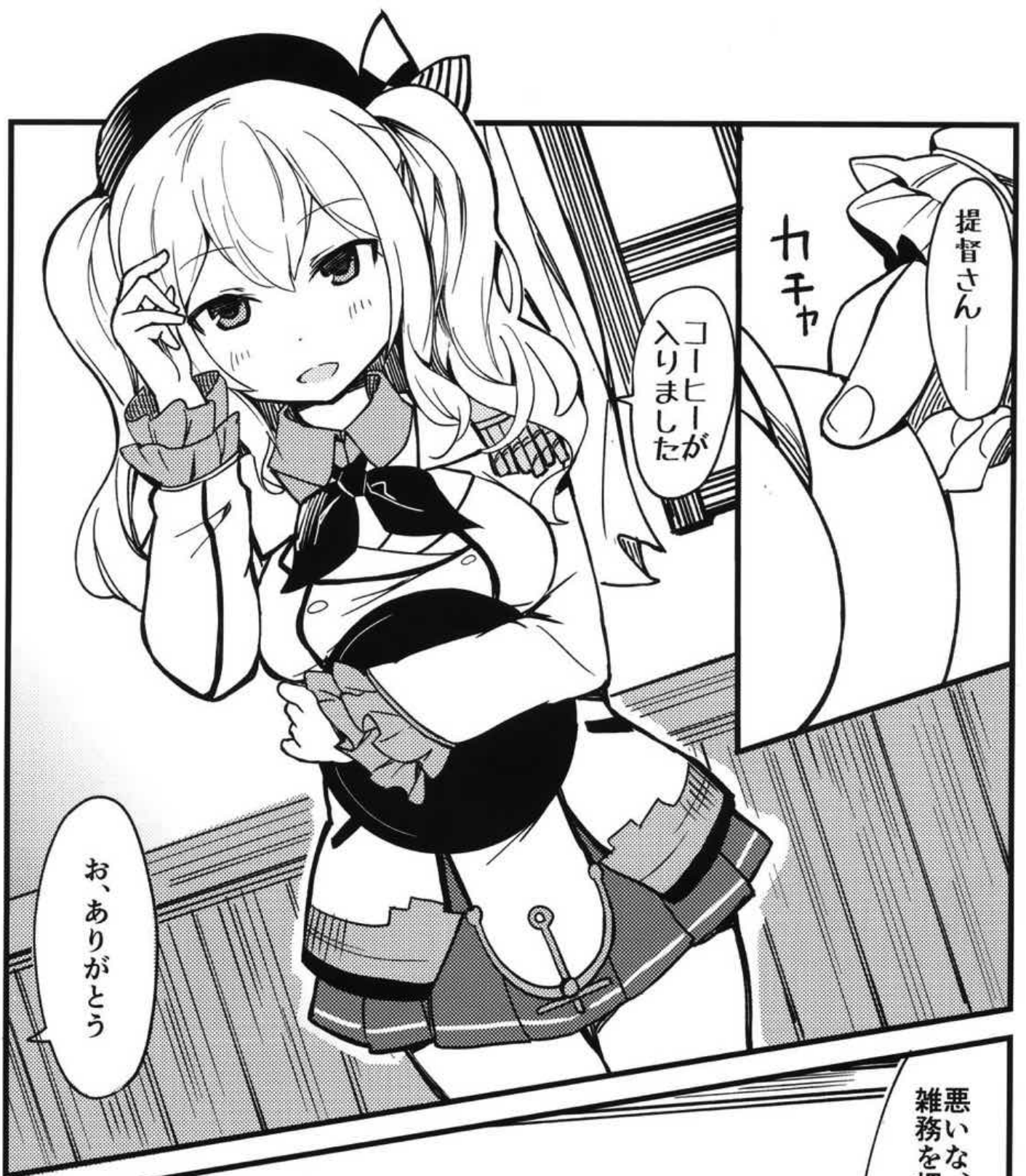




ライバル
強敵は
鹿島さん!?



提督さん——

カキヤ

コーヒーが
入りました

お、ありがとう



悪いな、入ったばかりで
雑務を押し付けてしまって

いいえ、楽しいです



いやいや結構だ

うふ、残念ー



少しお休みに
なられますか？

よろしければ
おひきお貸し
しますけどー



先程の書類も
整理して
おきました

すまんな
助かるよー

ごめん♡



カ
カ

カ
カ

カ
カ



どうと言われても……

電!!
どう思う!



はーっ!

かぼ

別にいつもの司令官さんだと思っただけですが……



私だって殴りたくて殴ってるわけじゃないのです



電は余裕だもんね! 肩殴ってるし!

い、いつものは殴ってないのですよ!

シビシビ

ガァ



し、司令官さんが
変な事をしてくる
から...なので...

何それ自慢!?
自慢なの!?

カーン!!

なので自慢
ですか!



何を焦ってるかは
知りませんが

そこまで言うなら
雷が鹿島さんみたいに
司令官さんのお世話を
すればいいのです



ちよつと
行って来る

いびゅー



それだ!

うわちよろ

カーン!!



持ちあがる
でかもしよれない!

気合いで!!

まさかの
根性論!?

雷さんー

流石に持ち
上げるとは
ちよっと:

ズッ

難しーかっ

う...

ちよっと
怖い
かも

目力が

あとおぼ



危ない!

あつ

て、提督さん、私片付けますねー

おい雷ー

カッ

コッ

コッ



も

お



も

お

お

す、すまん鹿島

いいえ……
大丈夫です……



このラズ
ゴメ臭

なに



おしれーかんの
魔神ーっ!!

違うから!!
事故だからっ

し……

うわあ
あ
あ

あ
ん











目つきが悪いから
かなって、ちよつと
悩んでるんです

私、初対面の人に
怖がられて
避けられちゃう
事が多くて



な、何ですか
いきなり



違うまね…

もしかしたら
私嫌われたら
じゃないのかなって



しようがないなって
思ってるけど
やっぱ結構
シヨツクなんですよね





鹿島さん

すごーくー

いい人だ



なのに私は

勝手な
イメージを
押し付けて



そろそろ
戻りましょうかー

謝らなきゃー

あ…あの…



怖かっただけで嫉妬
したというのか...
なんてというのか...

ごめんなさい!

私も最初鹿島さんが
少し怖かったです...



だ、大丈夫です
慣れてま

でも!



鹿島さんが
すごく良い人だって
分かったから

私も仲良
く
なり
たい
!

おいっ
ぱい
で
話
し
たい
!



だ
か
ら
—



嬉
し
い
—

え
へ
へ
...





あら提督さん
寝不足ですか？



ああ、ちょっと
必要書類の
整理をな！

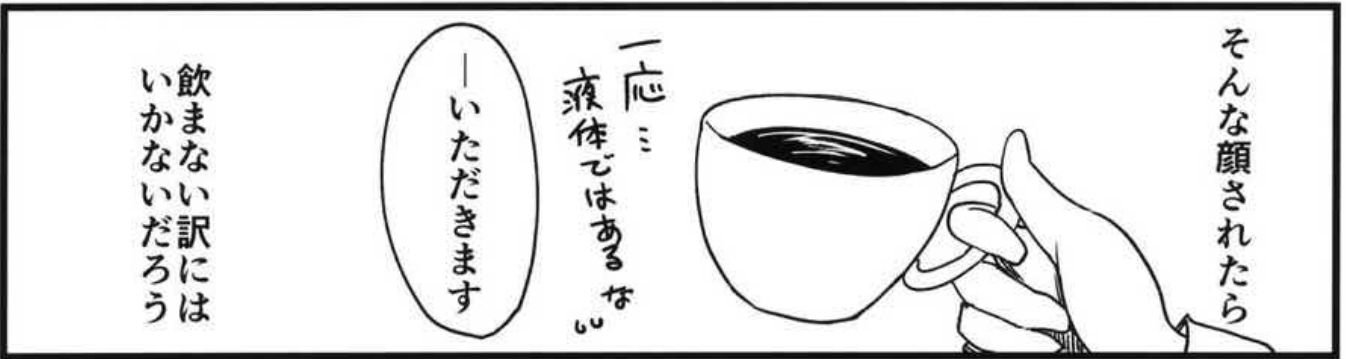


でしたらゴゴゴ



おず...

今日は雷ちゃんの
特別製です！





鹿島さんに
教えてもらったの！



ホント!?

はぁっ

うまいな



雷ちゃんは一
生懸命で
教え甲斐が
ありますね

鹿島さんの
教え方が
すごくだ
ったからよ



お前鹿島の事
苦手なんじゃ
なかったのか？



…あー



そんないじゃない



私たちが仲良しだもん



こないだまで目も合わせようとしてなかったと思うんですが...



ねー♪

ま

仲がいいなら
それに越したことは
無いけどな—



あとがき

どもですだーくです！
この度は本をお手に取って頂きありがとうございます！

鹿島さん、お姉さんっぽいビジュアルで、正直当初はあまりぐっとなさうかもなーと思ってましたが、性格知るとめっちゃ可愛くて本を出すに至りました。
鹿島さんにコーヒーを入れてほしい人生です
我ながらちょろい… q

それではまた次の本でお会いできる事を願って！



**だーくさいど
るーむ**

Kantai Collection Fanbook